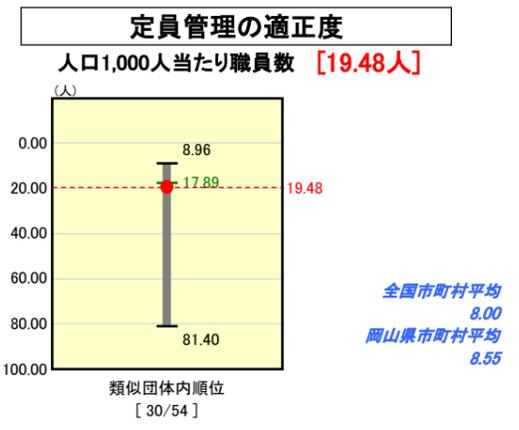
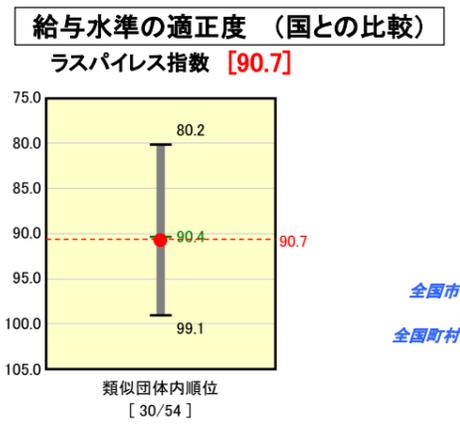
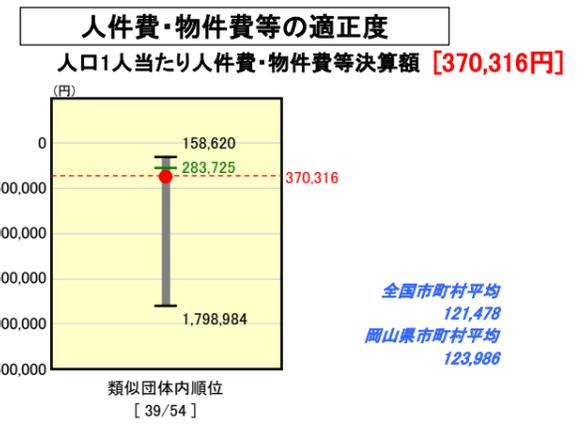
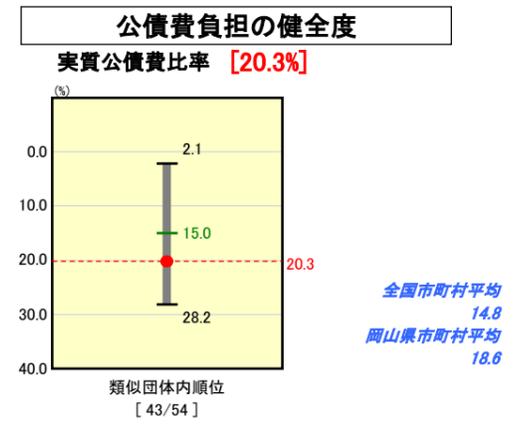
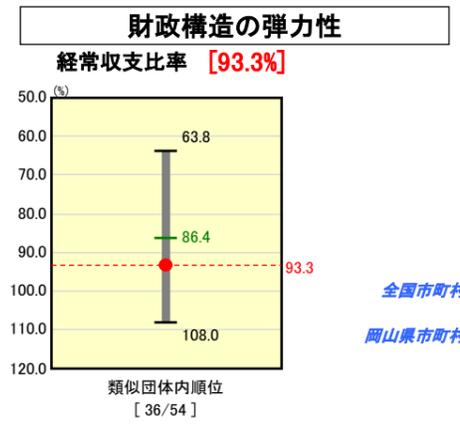
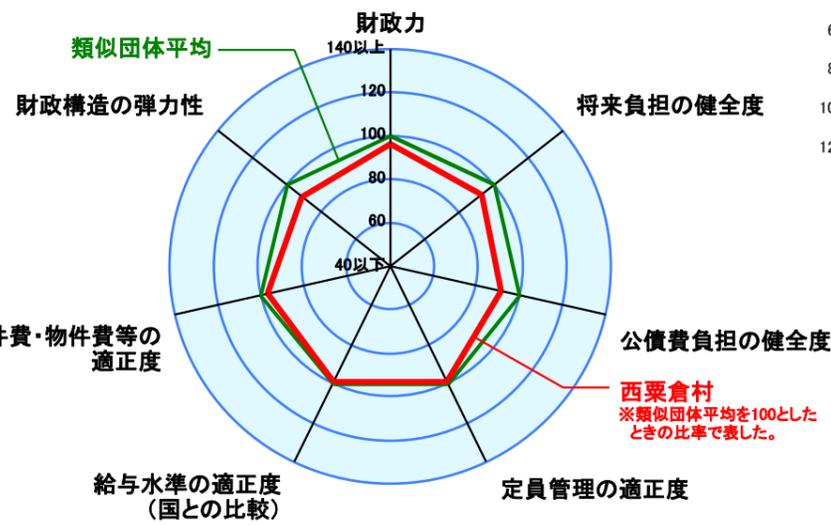
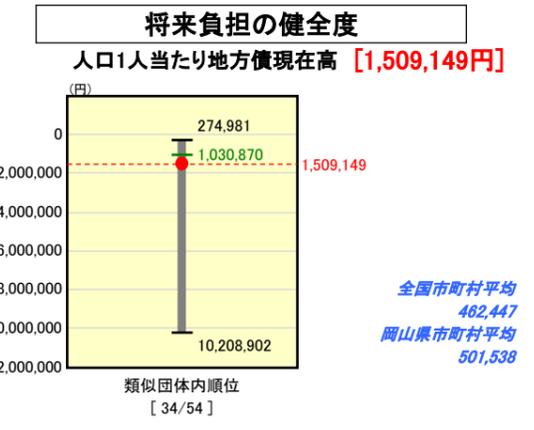
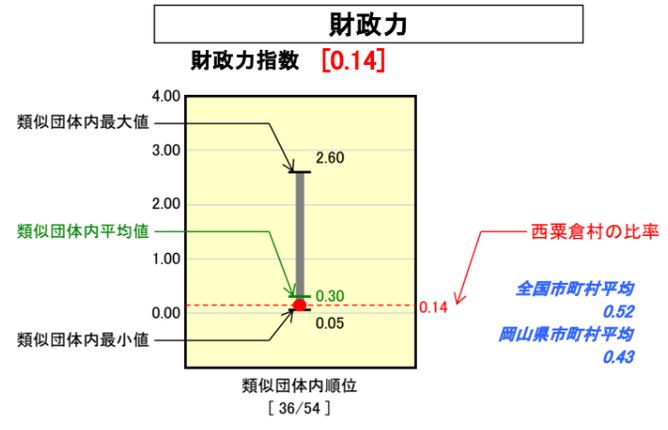


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 西粟倉村

人口	1,694人(H18.3.31現在)
面積	57.93 km ²
歳入総額	1,945,536千円
歳出総額	1,864,418千円



分析欄

【財政力】
財政力指数を年度毎に見ると、H13年度0.11、H14年度0.12、H15年度0.13、H16年度0.14とわずかに改善しているが、税収が少ない本村は、類似団体平均を下回り岡山県で最下位にある。産業の振興を図り自主財源の確保に努めたい。

【財政構造の弾力性】
経常収支比率を年度毎に見ると、H13年度80.1%、H14年度87.5%、H15年度89.4%、H16年度91.7%と急激に硬直化が進んでいる。H16年度は、類似団体平均が91.2%でほぼ同値であったが、H17年度は大幅に上回った。人件費、物件費、補助費等の経常的経費の削減にいつそう努める。

【人件費・物件費の適正度】
人口1人当たり人件費・物件費等の決算額は、類似団体平均をわずかに上回っている。本村では、H17年度に集中改革プラン(H17～H21)を策定し、職員定数の削減、指定管理者制度の導入等による物件費等の削減を図っている。

【将来負担の健全度】

H23年度は21.78億円に縮減する。

【公債費負担の健全度】
実質公債費比率は、国の健全度基準18%を大幅に上回り、類似団体平均からも大きく離れている。本村では、H18年度に公債費負担適正化計画(H18～H23)を策定し、H19～H23年度の5年間で地方債発行総額6.0億円(臨時財政対策債を除く。)を着実に実施し、地方債発行額を減らす。その結果、H23年度には実質公債費比率15.4%になる見込みである。

【給与水準の適正度】
ラスパイレズ指数(国との比較)は、類似団体をわずかに上回っている。職員人件費の総額抑制、給与の適正化に努める。

【定員管理の適正度】
人口1,000人当たり職員数は、類似団体平均をわずかに上回っている。国の総人件費改革、公務員制度改革に調和して職員定数の削減、給与制度改革、人事管理の徹底等により効率的な行政運営を目指す。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。